

北九州市長選挙(2023年2月5日)



Yutaka MOTOKI
2023年3月1日 11:23



▼ 目次

- 1. 選挙管理委員会資料
- 2. モザイク図の作成
- 3. モザイク図の解釈
- 4. 対応分析

1. 選挙管理委員会資料

北九州市長選挙開票結果速報

令和5年2月5日執行北九州市長選挙

開 票 結 了 速 報

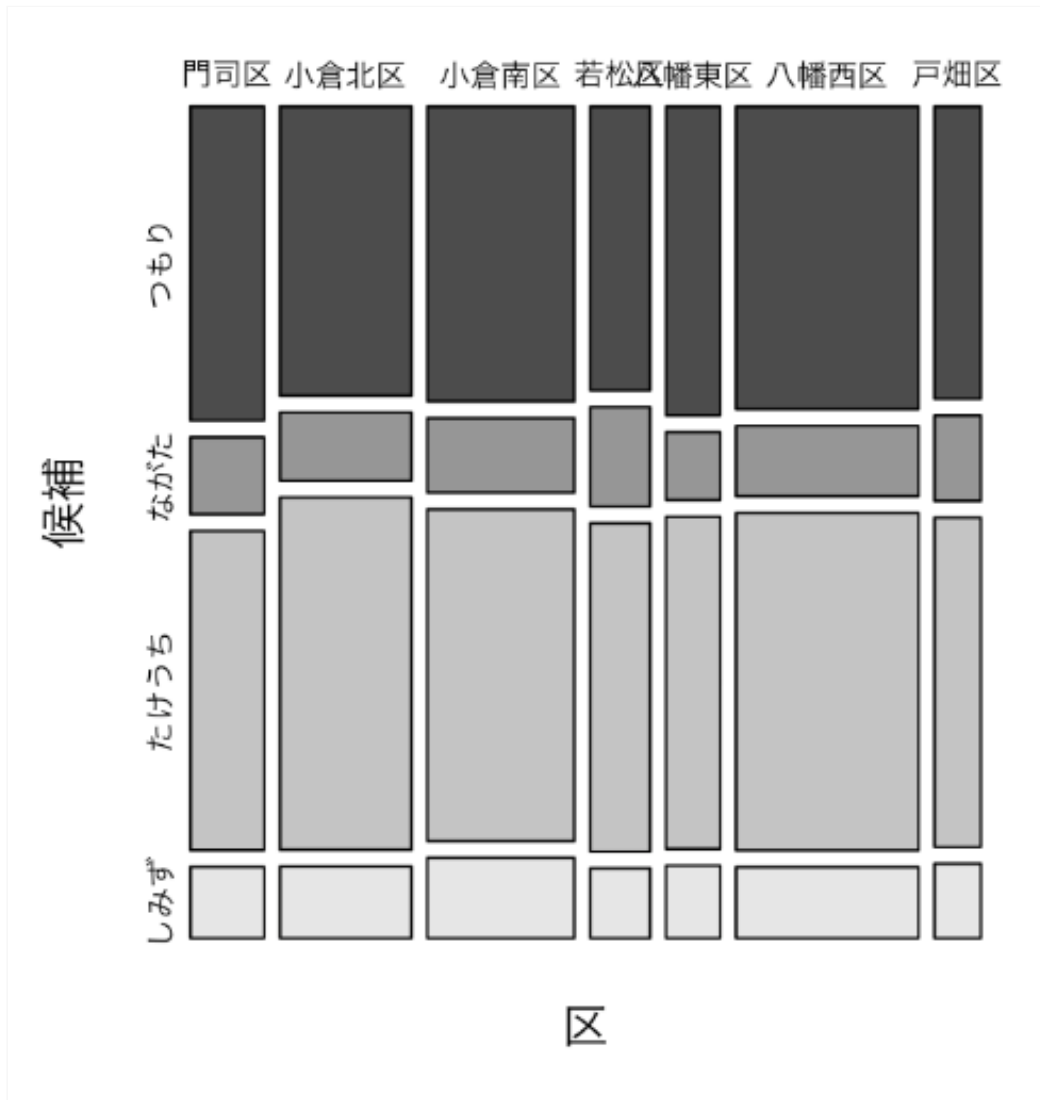
23時00分終了

届出順位	所属党派	候補者氏名	得 票 数							
			門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	北九州市計
1	無所属	つもり 洋介	12,593	20,650	23,579	9,256	9,117	30,032	7,387	112,614
2	無所属	ながた 浩一	3,088	4,884	5,968	3,243	2,004	6,990	2,159	28,336
3	無所属	たけうち 和久	12,807	25,171	26,528	10,710	9,805	33,494	8,324	126,839
4	無所属	清水 ひろあき	2,859	5,127	6,436	2,281	2,144	7,057	1,884	27,788

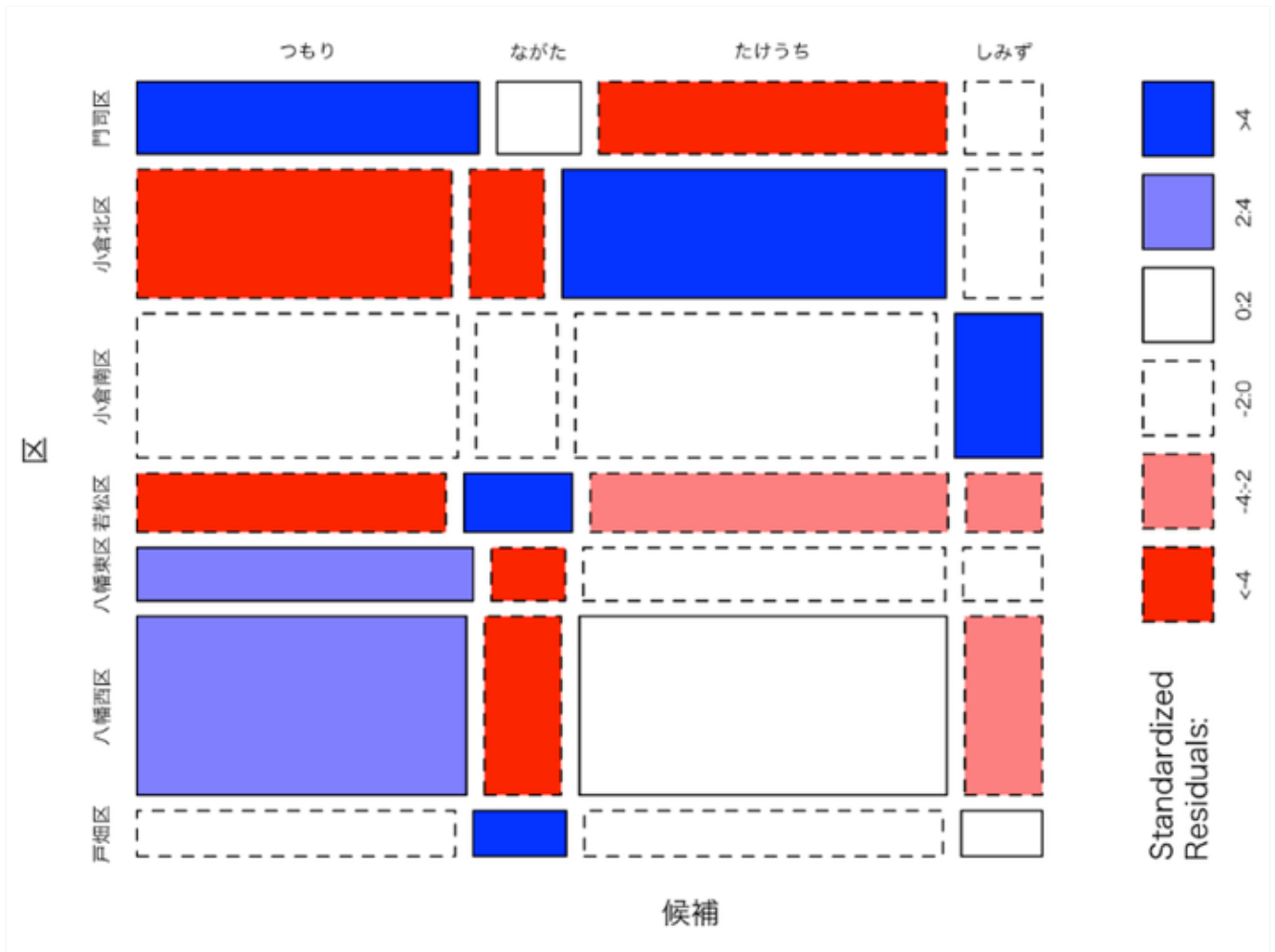
ア	得票数計	31,347	55,832	62,511	25,490	23,070	77,573	19,754	295,577
---	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

開票率 (%)	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了
---------	----	----	----	----	----	----	----	----	----

2. モザイク図の作成



モザイク図(1)



モザイク図(2)

3. モザイク図の解釈

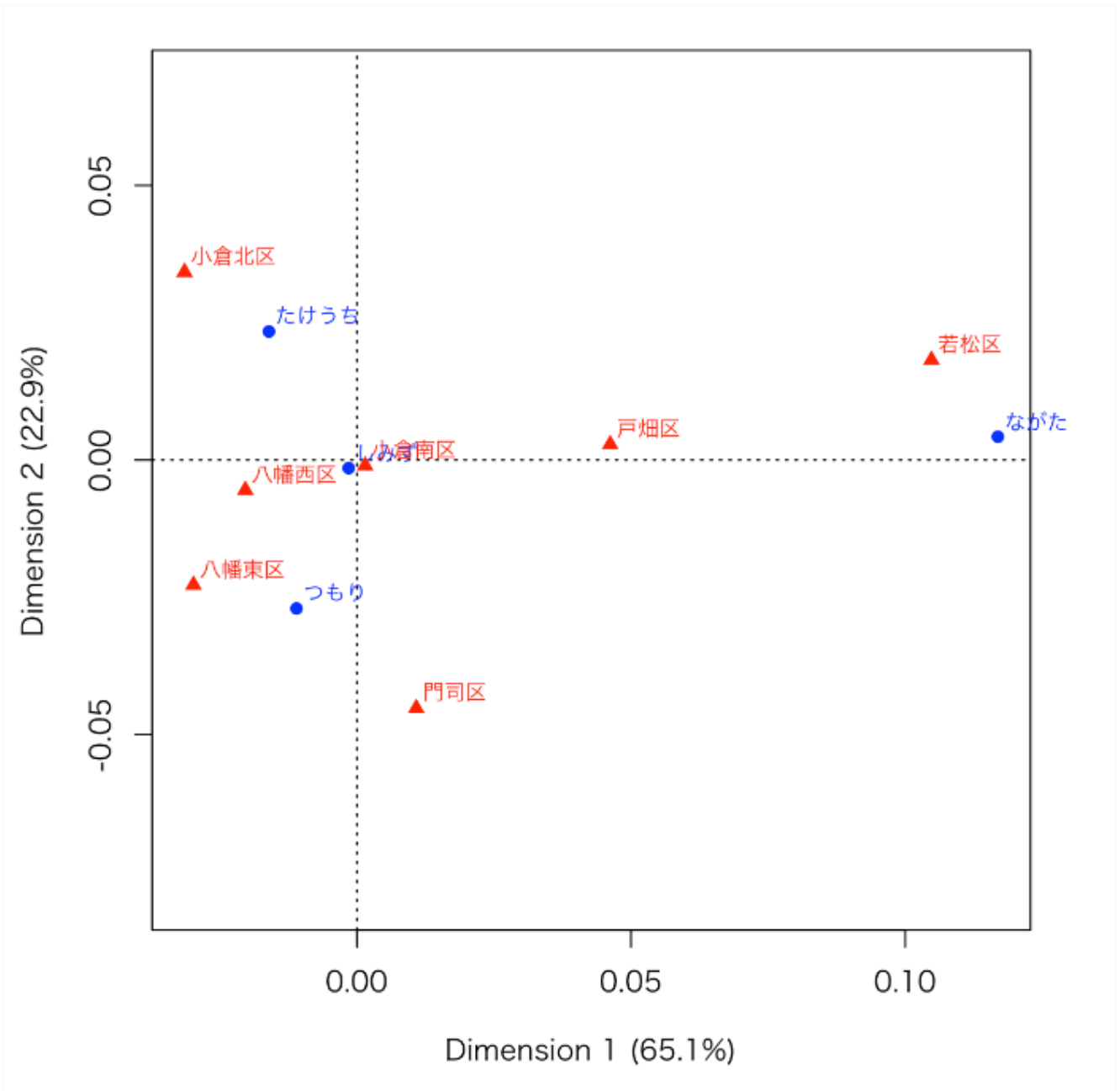
- どの区でも1位は「イメージ戦略」で成功したといわれる武内和久候補——コンサルティング会社代表取締役で2019（平成31）年4月の福岡県知事選挙では落選した——であった。彼が今回最も強かったのは**小倉北区**だったようだ。逆に言うと、相対的に弱かったのは門司区(と若松区)であった。武内和久候補の公約は「100万都市の復活」と「稼げる街」というものであった。選挙戦をどのような組織でおこなったかとともにどのようなキャッチフレーズを用いたかも調べてみる価値があるだろう。
- 津森洋介候補は、**門司区**、**八幡両区**で、その他の区においてよりも「相対的

に」善戦していた——分割表の周辺度数が一定であるという仮定を前提にすれば。

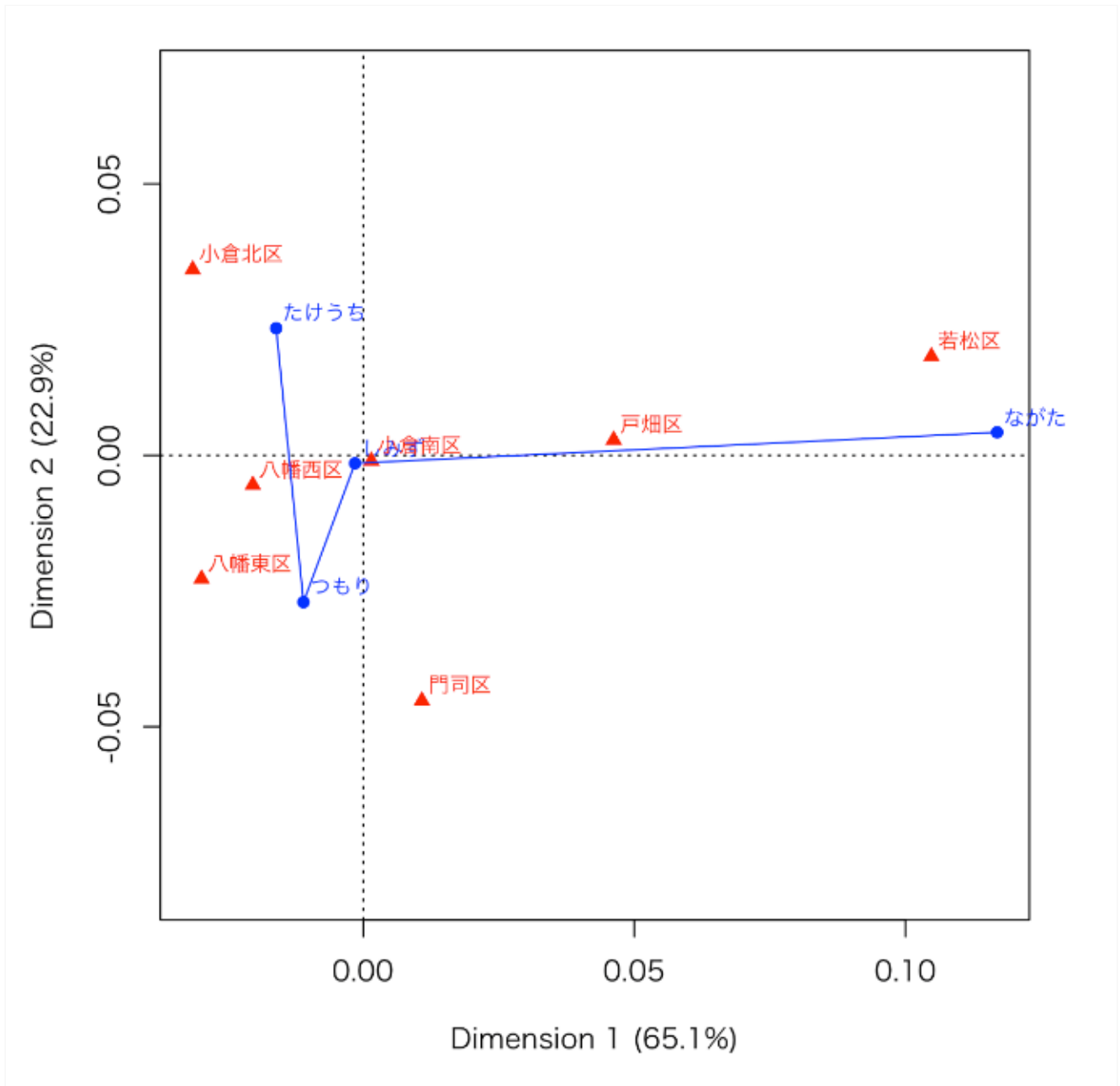
3. 同様に、永田浩一候補は、**若松区と戸畑区**で、その他の区においてよりも善戦していた。
4. **小倉南区**は、最下位の清水宏晃候補がその他の区においてよりも善戦したことが目に付くが、全体としては平均的な、特徴のない結果であった。
5. 北九州市全体としての動向というものがあるはずだが、それとは区別できるものとして各区の特徴というものが多少なりともあることに気づく。そのような特徴がどういう風にこれから変化していくのかに注目したいと思う。

4. 対応分析

```
##
## Principal inertias (eigenvalues):
##           1           2           3
## Value      0.001467 0.000516 0.000271
## Percentage 65.08%  22.89%  12.02%
##
##
## Rows:
##           つもり   ながた   たけうち   しみず
## Mass      0.380997 0.095867  0.429123  0.094013
## ChiDist   0.029762 0.117068  0.028802  0.051086
## Inertia   0.000337 0.001314  0.000356  0.000245
## Dim. 1    -0.287006 3.052527 -0.418605 -0.038866
## Dim. 2    -1.191315 0.186491  1.030324 -0.065173
##
##
## Columns:
##           門司区  小倉北区  小倉南区  若松区  八幡東区  八幡西区  戸畑区
## Mass      0.106054 0.188892  0.211488 0.086238  0.078051  0.262446  0.066832
## ChiDist   0.047651 0.047000  0.030712 0.107247  0.037755  0.023659  0.046588
## Inertia   0.000241 0.000417  0.000199 0.000992  0.000111  0.000147  0.000145
## Dim. 1    0.283003 -0.820386  0.039791 2.736091 -0.777734 -0.530925  1.206332
## Dim. 2    -1.991303 1.506937 -0.045117 0.801880 -1.002047 -0.240856  0.124916
```

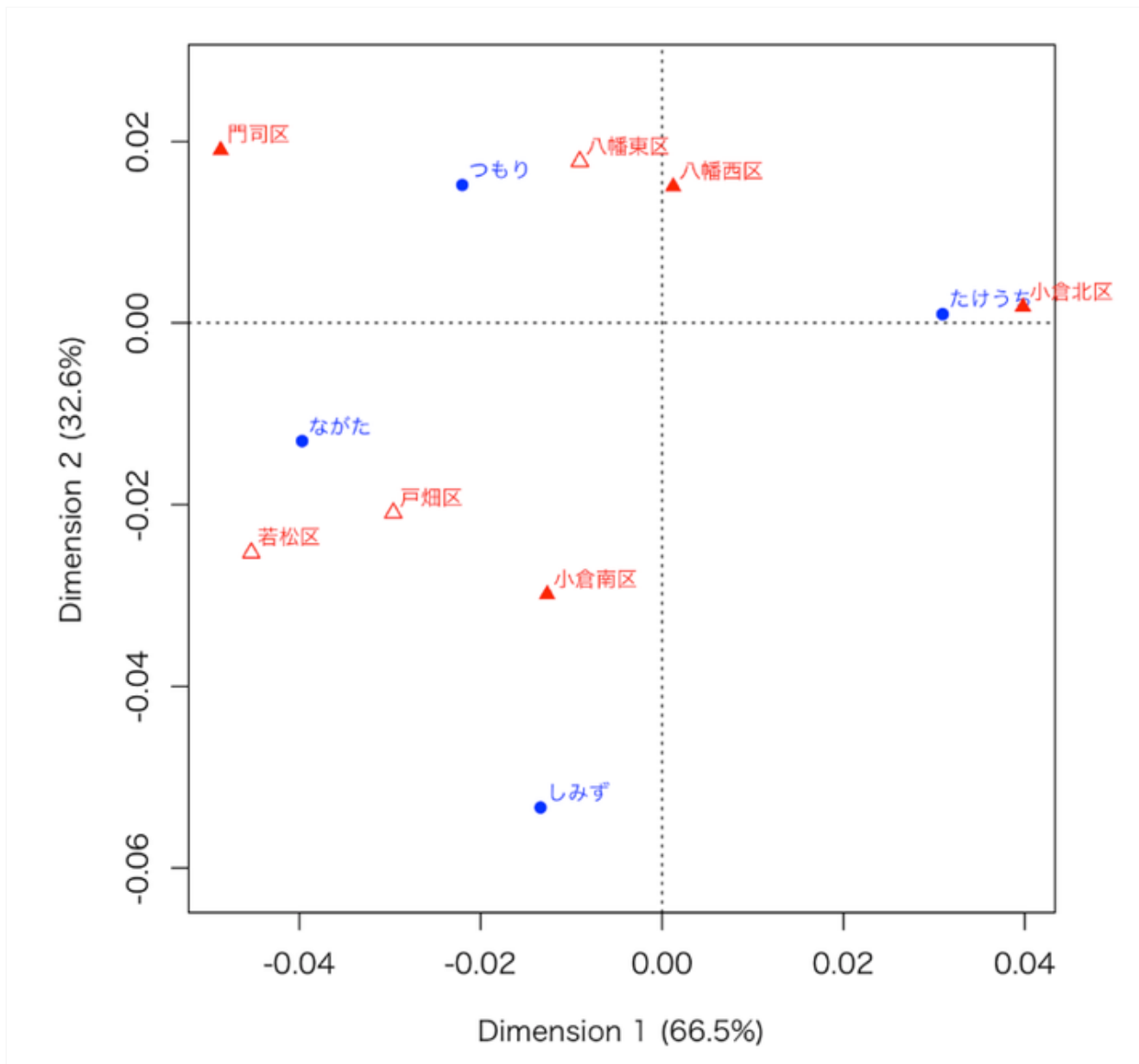


対応分析のグラフ(1)



対応分析のグラフ(2)

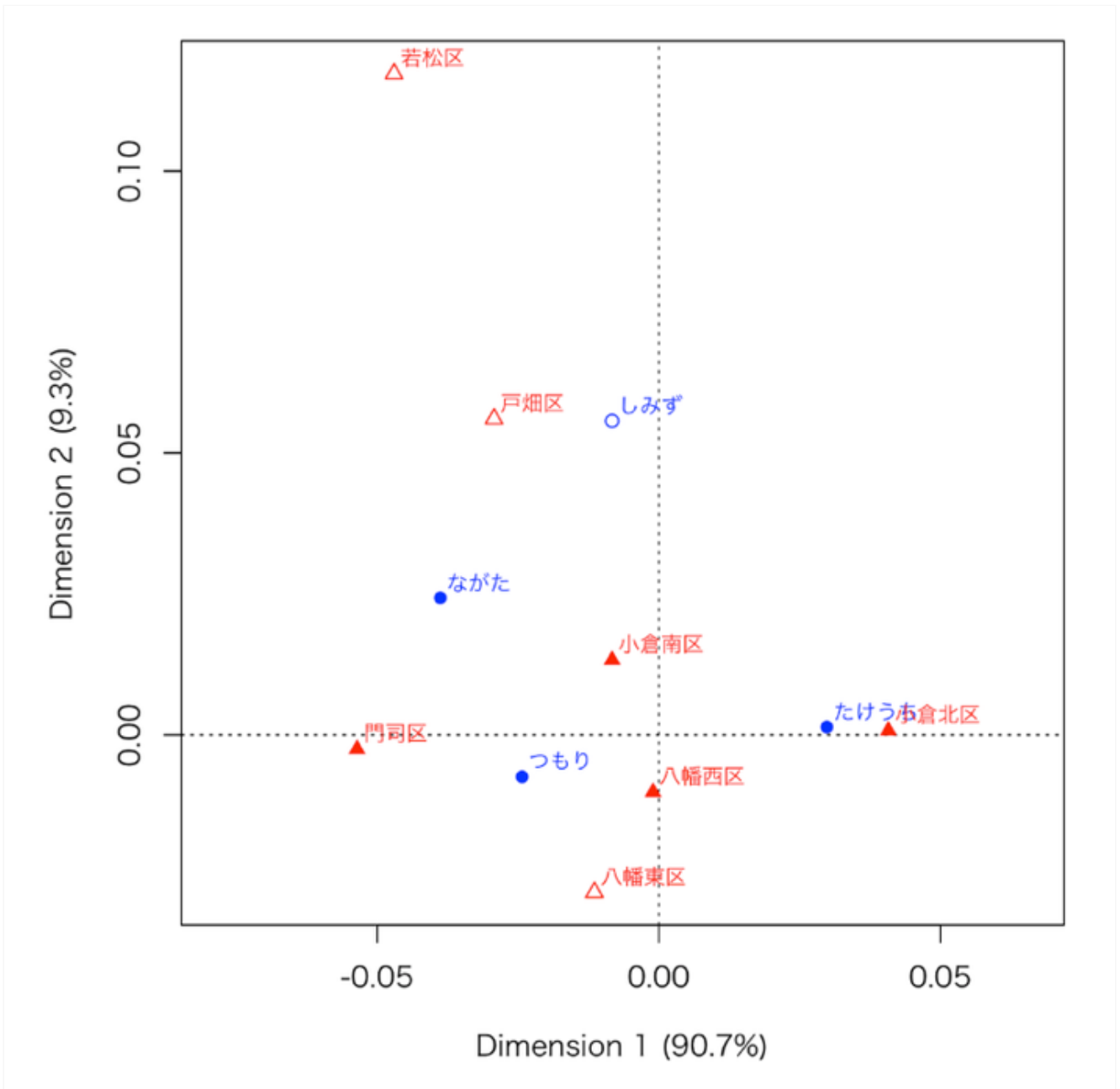
人口の相対的に多い4区（門司区、小倉北区、小倉南区、八幡西区）だけに絞って分析すると、以下のグラフの通り。



対応分析のグラフ(3)

「探索的」分析を試みると、(1) 小倉北区のプロファイルと武内候補のプロファイルの間に正の相関が見られること、(2) 小倉北区のプロファイルと門司区のプロファイルとの間に負の相関が見られること、(3) 武内候補のプロファイルと永田候補のプロファイルとの間に負の相関が見られることなどがわかる。

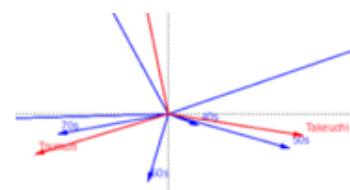
さらに、清水候補も外してみると、以下の通り。第1次元の「慣性」(分散と同義)が、全慣性の90パーセントを超えている。



対応分析のグラフ(4)

北九州市長選挙出口調査の年代別得票率を対応分析 によって再分析

2023年2月5日に北九州市長選の投票が行われ、出口調査に基づいて西日本新聞が各候補の年代別得票率を帯グラフで示しています。しかし、2月7日に発行された同紙の記事に掲載された帯グラフには、重要な情報が欠落しています。この帯...



♡ 2



Yutaka MOTOKI
2023/03/26 19:26

note

